

立教小学校入学志願者学校説明会③が、九月二十六日（土）に開催されました。

二十四日より本校ウェブサイトで「入学試験について」（教頭）「手続きについて」（事務長）の動画を公開し、学校説明会③は、「小学校探検」～六年生のお兄さんたちと新校舎で遊ぶ～という企画で、Aグループ三百組・Bグループ三百組（事前予約…未就学児一人につき保護者一名）の方々にご来校いただきました。新校舎内をご覧いただきました。六年生の運営による、テニス・キックターゲット・ミニ四駆・バスケットボール・ボッチャ・雲梯（うんてい）・飛び出す絵本づくり・算数ゲーム等々を体験していただきました。



参加者の感想（一部要約・抜粋）として、
・新校舎の教室を回りながら、先生方や六年生たちと一緒に活動できる機会は、未就学児にとって学校生活をより具体的にイメージできる大変貴重な機会だと思った。保護者にとっても、在校生の様子や先生方との関わりを実際に拝見できることは、学校の雰囲気を理解する上で大変参考になると感じている。

・六年生たちが、自分の担当だけにとどまらず周囲の様子を見ながら自然に声を掛け合い、助け合っていた。その姿から日々の学校生活の中で育まれている思いやりや主体性、協調

性を感じた。

・教室までの案内から会場の設営・運営に至るまで六年生のすばらしい連携や、ごく自然に助け合う姿、そして先生方との信頼に満ちた協力体制を拝見し、「愛の教育」が日々の学校生活の中でしっかりと身についていることに深く感動した。

・児童の皆さんが幼児に対して膝をつき、目線を合わせて話をする姿から、御校が大切にされている「共感性」を実感できた。

学校探検終了後、四年生が作り、袋詰めし、折り紙を添えて完成させたインドネシアの揚げ菓子「クリプック」（原料はタピオカ粉・にんにく・小麦粉・食塩）をお土産として参加者に受け取っていただきました。

実は、本校の四年生は縁の下の方持ち。新校舎を見ることがなく、引越した先の目白校舎で卒業して行った七十二・七十三回生（現中学二・一年生）を真っ先に新校舎にお招きした時にも、お土産としてメッセージ付きの「おかき」を家庭科の時間に労作してくれたのも四年生でした。

二十八日（月）朝礼後、四年生三クラスの教室へお礼をしに行きました。新校舎は教室前のオープンスペースが広いので、四年生百二十名が並んでも余裕です。これは便利！

目立たなくても、人に知られなくても、誰かのために尽くせること。縁の下の方持ちの四年生のことを、神様はちゃんと見てくださっていて、さぞかし喜んでくださっているだろうと伝えました。翌日、四年生の担任が児童の日記のコピーを持ってきてくれました。

九月二十八日（月）晴

「おせんべい」

今日、朝礼後、田代校長先生から僕たちが袋詰めした、おせんべいの事について、話がありました。

「みんなたいへんよろこばれていました。みなさん、神様によるこぼれる子どもになっていますね。」

と言われて、少しうれしくなりました。僕は、（人の役に立てるのって、なんだかうれしいな）と思いました。これからも「人の役に立ち、神さまによるこぼれる」子どもになつていきたいです。人に見えない所でがんばって、小さな働きが、大きなうれしさになるのだな、と思いました。とてもうれしいことをしたなあと思っています。



六年・四年生だけではなくて、沢山のすてきな子どもたちに囲まれて、私、幸せです！

（立教小学校校長 田代 正行）